

より快適で安心できるネットワーク社会づくりを目指して 情報セキュリティのさらなる強化を図っていきます。

ICTは、世界の人々をつなぎ、さまざまなアイデアと機会を生み出しました。その一方で、私たちはICTの急速な普及によって新たな課題にも直面しています。国境を越えて増加し続けるサイバー攻撃への備え、個人情報や機密情報などの確実な保護は、あらゆる企業や団体において早急に対応すべき事項となってきています。富士通グループでは、自社のシステム運用で培ったテクノロジーの活用を基本に、さまざまな関連機関と協働してこれらの問題に対応しています。

富士通グループは、誰もがICTにより最大限に可能性を引き出し、安心・安全で、情報が新たな価値を生み出し、豊かで持続可能な社会「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」をビジョンに掲げています。そして、ICTの力によって、持続可能な地球と社会の実現に貢献することと、デジタル社会の安心・安全を維持・強化していくことをグローバルICT企業としての社会的責任と考えています。

このビジョンの下、富士通グループでは、FUJITSU Way※「行動規範」に基づく社内規定を遵守し、情報の適正な管理および活用を行っています。それと共に、FUJITSU Wayに掲げる企業理念を実践するために、経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構が公表した「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」に準拠した国内外共通の「富士通グループ情報セキュリティ基本方針」を新たに定め、情報セキュリティの確保・向上に積極的に努めます。

また、富士通グループでは、情報管理を徹底し、情報セキュリティの強化を図るために、統一的な情報セキュリティ管理体制を構築しています。一方で、幅広い分野にわたってビジネスを展開していることから、個々のビジネスの特性によって求められる情報管理や情報セキュリティ上の異なる課題に迅速に対応できるよう、部門単位での情報セキュリティ管理体制も合わせて整備しています。

今回お届けする「情報セキュリティ報告書 2017」は富士通グループの情報セキュリティに関する活動をご紹介します。是非、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

富士通株式会社
最高情報セキュリティ責任者 (CISO)

高 綱 直 良

